

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成25年2月14日(2013.2.14)

【公開番号】特開2011-245175(P2011-245175A)

【公開日】平成23年12月8日(2011.12.8)

【年通号数】公開・登録公報2011-049

【出願番号】特願2010-123574(P2010-123574)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成24年12月21日(2012.12.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技に係る制御を実行する遊技制御手段と、遊技者が操作可能な演出用操作手段と、遊技中に前記演出用操作手段を遊技者に操作させる操作期間を設定する期間設定手段と、遊技者にとって有利となる特典を付与するか否かを判定する特典判定手段と、を備え、前記遊技制御手段は、遊技中の演出として、前記操作期間を設定するとともに、当該操作期間中に前記演出用操作手段の操作結果を演出内容に反映させる結果、前記特典が付与されることを報知する特典報知演出を行う遊技機において、

前記遊技制御手段は、

前記操作期間中、前記演出用操作手段の操作の検知に基づき、進行順序が予め定められた複数段階に亘って変化させる内部管理段階を管理するとともに、各内部管理段階を初期段階から段階が進行する毎に、前記特典判定手段の判定結果にかかわらず変化可能な非確定段階と、当該非確定段階よりも進行した段階であって前記特典判定手段の判定結果にかかわらず変化可能な確定可能段階と、当該確定可能段階よりも進行した段階であって前記特典判定手段の判定結果が肯定の場合にのみ変化可能な確定段階と、に分類して管理し、

前記操作期間中、前記内部管理段階に基づいて前記特典報知演出を実行させるとともに、前記内部管理段階が前記確定段階に達していれば前記特典報知演出の実行途中に確定演出を実行させ得る一方で、前記内部管理段階が前記確定段階に達していなければ前記内部管理段階にかかわらず前記特典報知演出の実行途中に前記確定演出を実行させないで、

前記操作期間の終了に伴う前記特典報知演出の終了に際し、前記内部管理段階が前記確定可能段階未満であれば前記特典判定手段の判定結果にかかわらず前記確定演出を実行させない一方で、前記内部管理段階が前記確定可能段階以上であれば前記特典判定手段の判定結果が肯定の場合に前記確定演出を実行させることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記特典報知演出には、前記確定段階に分類される内部管理段階の段階を異ならせた複数種類の特典報知演出を含み、

前記遊技制御手段は、

前記操作期間の設定に際しては前記特典報知演出の種類を決定するとともに、決定した特典報知演出に対応付けられた前記内部管理段階の進行割合を特定可能な複数種類の振分

パターンの中から一の振分パターンを決定するようになっており、

前記操作期間中、決定した振分パターンにしたがって前記内部管理段階を変化させ、前記内部管理段階の段階を変化させるに際し、前記初期段階から前記確定段階に達するまでの段階数が多い場合よりも当該段階数が少ない場合の特典報知演出で、前記内部管理段階の段階が進行し難く且つ後退し易く制御する請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記遊技制御手段は、前記特典判定手段の判定結果に基づいて前記特典報知演出の種類を決定することにより、前記特典報知演出毎に前記特典判定手段の判定結果が肯定である可能性の高低を対応付けており、

前記特典報知演出では、前記特典報知演出毎に、異なった演出態様が対応付けられている請求項 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記遊技制御手段は、前記内部管理段階の段階が前記確定段階に達した後、前記内部管理段階の段階を後退させない請求項 1 ～ 請求項 3 のうちいずれか一項に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記目的を達成するために、請求項 1 に記載の発明は、遊技に係る制御を実行する遊技制御手段と、遊技者が操作可能な演出用操作手段と、遊技中に前記演出用操作手段を遊技者に操作させる操作期間を設定する期間設定手段と、遊技者にとって有利となる特典を付与するか否かを判定する特典判定手段と、を備え、前記遊技制御手段は、遊技中の演出として、前記操作期間を設定するとともに、当該操作期間中に前記演出用操作手段の操作結果を演出内容に反映させる結果、前記特典が付与されることを報知する特典報知演出を行う遊技機において、前記遊技制御手段は、前記操作期間中、前記演出用操作手段の操作の検知に基づき、進行順序が予め定められた複数段階に亘って変化させる内部管理段階を管理するとともに、各内部管理段階を初期段階から段階が進行する毎に、前記特典判定手段の判定結果にかかわらず変化可能な非確定段階と、当該非確定段階よりも進行した段階であって前記特典判定手段の判定結果にかかわらず変化可能な確定可能段階と、当該確定可能段階よりも進行した段階であって前記特典判定手段の判定結果が肯定の場合にのみ変化可能な確定段階と、に分類して管理し、前記操作期間中、前記内部管理段階に基づいて前記特典報知演出を実行させるとともに、前記内部管理段階が前記確定段階に達していれば前記特典報知演出の実行途中に確定演出を実行させ得る一方で、前記内部管理段階が前記確定段階に達していなければ前記内部管理段階にかかわらず前記特典報知演出の実行途中に前記確定演出を実行させないで、前記操作期間の終了に伴う前記特典報知演出の終了に際し、前記内部管理段階が前記確定可能段階未満であれば前記特典判定手段の判定結果にかかわらず前記確定演出を実行させない一方で、前記内部管理段階が前記確定可能段階以上であれば前記特典判定手段の判定結果が肯定の場合に前記確定演出を実行させることを要旨とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項 2 に記載の発明は、請求項 1 に記載の遊技機において、前記特典報知演出には、前記確定段階に分類される内部管理段階の段階を異ならせた複数種類の特典報知演出を含み、前記遊技制御手段は、前記操作期間の設定に際しては前記特典報知演出の種類を決定

するとともに、決定した特典報知演出に対応付けられた前記内部管理段階の進行割合を特定可能な複数種類の振分パターンの中から一の振分パターンを決定するようになっており、前記操作期間中、決定した振分パターンにしたがって前記内部管理段階を変化させ、前記内部管理段階の段階を変化させるに際し、前記初期段階から前記確定段階に達するまでの段階数が多い場合よりも当該段階数が少ない場合の特典報知演出で、前記内部管理段階の段階が進行し難く且つ後退し易く制御することを要旨とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

請求項3に記載の発明は、請求項2に記載の遊技機において、前記遊技制御手段は、前記特典判定手段の判定結果に基づいて前記特典報知演出の種類を決定することにより、前記特典報知演出毎に前記特典判定手段の判定結果が肯定である可能性の高低に対応付けており、前記特典報知演出では、前記特典報知演出毎に、異なった演出態様に対応付けられていることを要旨とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0180

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0180】

(ハ) 前記遊技制御手段は、前記特典判定手段の判定結果が肯定であれば、前記特典報知演出で前記確定演出を実行させたか否かにかかわらず遊技者に付与すべき前記特典に関しては付与する請求項1～請求項4、及び技術的思想(イ)、(ロ)のうちいずれか一項に記載の遊技機。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0181

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0181】

(二) 前記遊技制御手段は、前記操作期間中、前記演出用操作手段の操作を検知した後、所定期間が経過しても前記演出用操作手段の操作を検知しない場合、前記内部管理段階の段階が後退するように変化させる請求項1～請求項4、及び技術的思想(イ)～(ハ)のうちいずれか一項に記載の遊技機。